

新山協ニュース

▲ 発行者 平田 大 六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

第28回 日山協 海外登山技術研究会の報告

海外登山委員会

田 中 純 夫

さる2月24日・25日、東京、高所医学の立場からの高所順八王寺市の大学セミナーハウスで標記研究会が開催された。その研究成果が報告された。この中で同氏は、低圧実験室でまず日程第一日目。日山協の低圧訓練の効果と、尾形好雄海外委員長の趣旨説明、日程説明が行われた。

その後セッションとして「カンチエングの完全縦走にみるソ連の高峰登山」というテーマで、1989年春、ソ連隊によって行われたカンチエングの完全縦走の様子が、スライド上映によって、ソ連のヴァリーエフ氏から説明された。これは2月から5月にかけて、ヤルン・カン、主峰、中央峰、南峰に多くの登頂者を出す一方、完全な交叉縦走を行った画期的な記録である。

次にセッションⅡとして筑波大学の浅野先生から「外国人と日本人の高峰登山者のスタミナ比較」というテーマで、日程第二日目は、まず始め

に田部井淳子さんよりヒマラヤ・アドヴェンチャー・トラストへの協力要請があったあと、セッションⅣが始まった。これはUIAAの遠征委員長をやっているフランスのジャン・コドレイ氏を講師として行われたもので、「ユニークなヒマラヤ登山をリードするフランスの高峰登山」というテーマで、同氏の参加した1980年のフランス隊によるダウラギリピーク南西ピラー登攀の報告であった。遠征時の映画が上映され、活発な質疑も行われた。

続いてスイスのブルーノ・ランクウィラー氏からは「スイスの登山事情」ということ

評議員会報告

理事長 平 田 大 六

4月22日(日)新潟市青年の家で開催。出席者32名、委任16団体。室賀会長挨拶の後、新潟県山岳協会坂井厚氏を議長に選出して議事進行する。
(1)平成元年度事業報告、
(2)平成元年度収支決算報告、
(3)監査報告、が行われる。会費未納団体についての質問があり、事務局の督促にも関わらず滞納団体があることを指摘される。会計の組み方について質問があり、会計担当と鈴木前理事長から説明が

あり、了解される。(4)平成2年度予算承認、(5)平成2年度事業計画承認(別表)事業担当者より、今年度の事業計画の詳細な説明がある。指導員検定会については、少人数でも実施してほしいとの強い希望があり、担当より主旨を尊重して行く発言あり。会報委員よりニュース原稿の募集がありました。各団体積極的に投稿をお願いします。(6)その他として、①第3回全国健康福祉祭びわこ大会、②第29回全日本登山体育大会、③小型協会旗の頒布、④人事異動に

今年も役員、担当者一同協会発展の為に精一杯努力していく覚悟です。会員各位の積極的な行事参加をお願いします。

国体県予選会報告

国体副委員長 森 庄 一

平成2年4月29日みどりの日、第45回国体山岳競選県予選会が長岡市東山連峰を会場に実施された。長岡市レクリエーション課課長さんを来賓に迎えての開始式。あいにくの雨で競技が心配されたが、選手達は今は遅しとこの日に向けて準備万端整えてきたせいか、盛観な顔つきのなか

も余裕が感じとれる。むしろ役員団の、雨中での会場セッティングに合わない様相を呈してきた。

少年男子10チーム、少年女子5チーム、成年男子、成年女子各1チームのちよつと寂しいエントリー数である。今年には少年男子、少年女子共北信越富山大会を2位以内に入

平成2年度 新潟県山岳協会事業予定

4月22日	評議員会	新潟市 青年の家	担当	平田 大六	☎ 0254-64-1245
4月28日~29日	第45回国体新潟県予選会	長岡市 東山連峰	担当	高橋 秀樹	☎ 025-259-5434
6月9日~10日	第11回自然保護研究会	妙高高原町 探鳥会	担当	石田 国夫	☎ 0255-52-3290
6月23日~24日	登山技術講習会	新発田市 杉滝岩	担当	阿部 信一	☎ 025-273-1572
7月14日~15日	遭難救助講習会		担当	山田 勲	☎ 025-267-8701
7月25日	新潟県登山祭	弥彦村 弥彦山	担当	弥彦山岳会	☎ 0256-94-2940
7月27日~29日	第11回北信越国体富山	立山町 大辻山他	担当	高橋 秀樹	☎ 025-259-5434
8月4日~5日	指導員検定会・岩登り技術	新発田市 杉滝岩	担当	三富 一弥	☎ 025-222-8997
10月6日~7日	婦人部登山大会	尾瀬ヶ原	担当	山田 智子	☎ 025-244-7959
10月13日~14日	親睦登山	銀山平 荒沢岳	担当	奥只見山岳会	☎ 0257-92-1122
10月21日~26日	第45回福岡国体	前原町 脊振山系	担当	国体委員会	☎ 025-259-5434
10月27日~28日	第12回自然保護研究会	入広瀬村	担当	石田 国夫	☎ 0255-52-3290
11月	北信越5県会議・福井		担当	平田 大六	☎ 0254-64-1245
12月2日	指導員研修会	長岡市	担当	杉原八百樹	☎ 0254-28-2617
1991年					
1月20日	新年会	新潟市	担当	小林兼一郎	☎ 0254-41-2064
2月16日~17日	冬山研修会		担当	新潟地区	☎ 025-267-8701
2月23日~24日	指導員検定会・氷雪技術		担当	田中 栄弘	☎ 0258-34-5595
2月	地区別審判員研修会・長野		担当	国体委員会	☎ 025-259-5434
3月30日~31日	スキーツァー	蓮華温泉	担当	石田 国夫	☎ 0255-52-3290
参考					
6月1日~3日	第29回全日本登山体育大会	岐阜県双六岳槍ヶ岳他			
6月16日~17日	越後支部親睦登山	頸城駒ヶ岳			



れば、地区代表2チームが福岡の脊振山系で開催の10月21日からの国体出場ができる。昨年北海道国体で成年女子が総合4位に入賞し、山岳県新潟が、競技登山にも確実に強

スタート

統全国大会出場を目指し、来年へつながらよう頑張ってもらいたい大事な年である。踏査競技のみの大会となった県予選会である。エリアの高低差480m、八方台への登山路4本のうち2本を使つての周回コースである。栖吉地内をスタート、ゴールとしての、競技時間、定点観察、読図を3人1チームで競う踏査競技。選手が空へ通じたのか、スタート時には陽も射し、出発間際に監督から雨具を脱ぐよう指示を受けてスタートするチームが続く。新緑の中、選手達は指定されたコースを精一杯力走しての定点探し、余裕を残す笑顔でのゴール。この様子を見て、体位の向上に連れて県内選手がたくさん感じとれた。

成績は、少年男子1位三条高校、2位新発田高校、3位長岡工業高校、少年女子1位三条東高校A、2位三条高校、3位三条東高校Bと同校C、結果北信越国体新潟県代表チームは、少年男子三条高校、少年女子三条東高校、成年女子悠峰山の会を中心にしての

チーム、福岡国体へ出場の成年男子は高田ハイキングクラブを中心にしてのチームとなった。

勝ち抜いたチームは各大会上位を目指し頑張ってもらいたい。

皆さんの応援も宜しくお願いします。

成績は、少年男子1位三条高校、2位新発田高校、3位長岡工業高校、少年女子1位三条東高校A、2位三条高校、3位三条東高校Bと同校C、結果北信越国体新潟県代表チームは、少年男子三条高校、少年女子三条東高校、成年女子悠峰山の会を中心にしての

スポーツ安全保険

掛金下げました

山岳登攀・縦走・登山全般	象です。
掛金	99000円 期間 加入時
死亡・後遺傷害	400万円 平成3年3月31日まで
入院(1日)	18000円 問い合わせ
通院(1日)	8000円
対人賠償	1億円
対物賠償	500万円
共済見舞金	50万円
山行往復時の交通事故も対	
025813619533	
025122217344	
山岳協会(杉本)	



表彰表

第11回自然保護研修会案内

自然保護委員会

新潟県内各地でも、ゴルフ場開発に関連して住民パワワーが盛り上がり、企業や行政に對して中止や変更を求める動きも多く、自然保護に携わる我々も多くを考えさせられる昨今であります。

さて第11回自然保護研修会を下記内容にて開催致します。今回は鳥をテーマに取り上げ勉強したいと思えます。ご多忙とは存じますが、多数の皆様のお席をお願い申し上げます。

期日 平成2年6月9日(土) 10日(日)

会場 妙高高原町 どんぐり荘 (妙高高原山岳会会長 池田文夫氏宅)

野鳥観察地 妙高高原町 笹ヶ峰黒沢周辺

講師 山本 明氏 (全日本野鳥の会 新潟県支部長)

岸本茂徳氏 (妙高高原ビジターセンター主任)

準備 夏山日帰り程度 望遠鏡、双眼鏡、テープレコーダー等探鳥に必要なものがあれば便利です。

会費 7000円

1泊2食懇親会費

申し込み 長岡市末広1-4-34 堀井 浩

☎0258-32-11621

締め切り 5月31日 消印

日程

第1日目 (6月9日)

16時 受付

16時30分~18時30分 講義・スライド

19時~21時 懇親会・夕食

第2日目 (6月10日)

3時 起床

3時30分 出発 (車にて)

4時 笹ヶ峰着

11時 ビジターセンター解散

お知らせ

◎賛助会員募集中

五十嵐まで ☎0254-22-2928

◎県スポーツ振興基金

1口5,000円 募集中

協会口座

第四銀行長岡駅東支店

普通 1116600

◎山岳保険の問い合わせ

杉本まで ☎0258-36-9533

◎指導員の資格問い合わせ

田中まで ☎0258-34-5595

◎国体の問い合わせ

高橋まで ☎025-259-5434

山田まで ☎025-244-7959

◎遭難対策の問い合わせ

山田まで ☎025-267-8701

◎自然保護の問い合わせ

堀井まで ☎0258-32-1621

◎個人でのニュース購読希望

杉本まで ☎0258-36-9533

協会旗の頒布について

小型協会旗 (43×63cm) を50枚作り、会員各位に頒布しております。希望者は協会事務局まで申し込み下さい。1枚4000円です。

◎旗の説明

旗全体に米どころ越後平野を黄金色にデザインする。図柄は新潟県の国体マークよりデザインする。

全体に山という文字を基調にして、上部の凹凸はスカイラインになって見える。

赤地は、N・S・Aのアルファベット文字がデザインさ

青色は日本海、赤色は新潟県となる。縦に2本線を入れ、上・中・下越地区、各地区の名山、朝日連峰・飯豊連峰・五頭連峰・越後三山・谷川連峰・頸城三山・北アルプス連山、と名山を想起させるデザインになっている。また、縦線は各地区の清水をたたる川にもなって見える。

ファベット文字がデザインさ

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

れ Niigata - Ken Alpine Society (新潟県山岳協会) となる。